



～前回の東京オリンピック聖火リレー第二隊のランナー新藤忠さん提供～

2020 東京オリンピック聖火リレー



6月17日（月）から募集始まる！



6月1日に2020年東京オリンピック聖火リレーのルート概要と聖火リレーのランナー募集が発表されました。神奈川県内は、3日間にわたり15市町が聖火リレーのルートになり、平塚市も前回大会に続き聖火ランナーが通過することになりました。令和2年（2020年）6月29日（月）に箱根町を出発、大山（伊勢原市）を經由して小田原市から藤沢市までが初日のルート。詳細ルートは12月に公表される予定。

★神奈川県内の聖火リレーの通過市町については、神奈川県の記事発表資料を参照 [神奈川県資料](#)（クリック）

★各日の出発地で出発式、ゴール地ではセレブレーション（セレモニー）、途中区間（藤沢市・海老名市）で、ミニセレブレーションが開催され、聖火リレーを盛り上げます。



聖火リレーの詳細は、組織委員会ホームページへ（画像をクリック）

【応募】プレゼンティングパートナー4社と各都道府県実行委員会

6/17～日本コカ・コーラ株式会社

6/24～トヨタ自動車株式会社・日本生命保険相互会社・日本電信電話株式会社（NTT）

7/1～各都道府県実行委員会

★詳細は、各募集先のウェブサイトでご確認ください。8/31まで受付

【主な応募要件】

- ①2008年（平成20年）4月1日以前生まれ②国籍・性別不問
- ③走行を希望する各都道府県にゆかりのある方

問い合わせは平塚市教育委員会スポーツ課 TEL0463-31-3060

★次ページあり↓

～前回の東京オリンピック聖火リレー（昭和 39 年（1964 年）10 月 7 日）教育委員会博物館提供～



～市民センター前：先頭は聖火リレー第 1 隊のランナー大木靖夫さん～



～平塚駅北口四つ角：第 1 隊から第 2 隊の中継場所～

★次ページあり↓



平塚市聖火リレー隊 46名の集合写真

前回の東京オリンピックの聖火リレーのランナーは、当時の広報ひらつかによると旧国道1号線をコースとして、リレー隊を2組編成して行われています。1組の編成内容は、正走者、第1副走者、第2副走者が各1名、随走者20名の計23名で、トーチを持つ聖火ランナー(正走者)を先頭に隊列が組まれます。国道1号線の大磯境で聖火リレーを行い、第1隊がスタート、東に向かい1.9キロメートル先の平塚駅北口の四つ角で第2隊に聖火がリレーされました。第2隊は茅ヶ崎境までの1.9キロメートルを力走して聖火を茅ヶ崎の聖火リレー隊に繋ぎました。



聖火リレー試走(鎌倉市提供)

ことし十月のオリンピック東京聖火リレー隊第一(第二)コース大会のへき道を飾る聖火リレーは十月七日午前十一時二十九分から同四十九分の間に、国道一号線をコースとして、平塚を通過します。市教育委員会は、これに備えて本市リレー隊員の人選を急ぎ、このほどメンバーを正式に発表しました。市内リレー隊は二組が編成され、第一隊の正走者には、昭和堂勤務の大木靖夫君(一九・体協推薦)が、また第二隊の正走者には横浜ゴム勤務の新藤忠君(一九・勤王会推薦)がまかりました。

平塚の聖火リレー隊員

第1隊の正走者は大木靖夫さん(昭和堂) 第2隊は新藤忠さん(横浜ゴム) 平塚市教育委員会が体育協会や商工会議所、高校などから19歳以下の男女の走者を推薦していただき、各隊23名で計46名を決定。およそ2か月間の練習を経て本番当日に挑みました。

オリンピックまえに正式決定

- ▽正走者・大木靖夫(昭和堂)
- ▽副走者・田代可久(昭和堂)
- ▽第二副走者・内藤勝彦(湘南地区)
- ▽随走者・水野久恵(横浜ゴム)
- ▽随走者・藤生博高(横浜ゴム)、大野敏(市役所)、馬場勇(平高)
- ▽随走者・田代善子(平高)
- ▽随走者・佐々木次郎(市役所)、二宮朝夫(体協)、清田孝子(高浜)、高田義隆(平高)、関分(仁(中野地区)、片倉善博(豊田地区)、井上勇治(神地区)、二百(愛吉民地区)、宮川善代子(宗善地区)、渋谷安仁(相模)、杉山昭夫(平青)、今井良明(平高)、鈴木文代(勤王会)、小清水(土屋地区)。
- ▽聖火リレー隊第二(第二)コース
- ▽随走者・新藤忠(横浜ゴム)
- ▽第一副走者・内藤孝二(平高)
- ▽第二副走者・八田美夫(平高)
- ▽随走者・大谷政次(勤王会)

昭和39年(1964年) 6月10日の「広報ひらつか」 聖火リレーの記事抜粋